

# いもち病（葉いもち）情報第2号

平成28年7月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

6月下旬の巡回調査では、尾張地域の一部ほ場で葉いもちの発生が認められ、やや多い発生となっています。

イネいもち病発生予察用シミュレーションプログラム（BLASTAM）を用いた葉いもち感染好適日の判定によれば、愛西で6月16日、17日、20日、名古屋で6月17日、20日、26日、豊田で6月17日、26日、30日、岡崎で6月23日、26日、30日、新城で6月17日、20日、30日、蒲郡で6月17日、30日、稲武で6月20日、26日、南知多、伊良湖で6月23日、大府で6月30日に感染好適日となりました（表）。いもち病菌の胞子がイネ葉上にあれば、感染好適条件が満たされた日から7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。

7月1日名古屋地方气象台発表の週間天気予報によれば、向こう一週間は、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りが広がりやすいと予測されています。

発生が急速に拡大する可能性があるため、本田の発生状況に注意し、発生を確認したらオリブライト1キロ粒剤、キタジンP粒剤、カスミン液剤などで防除しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果  
（6月15日～6月30日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/15	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/16	●	—	—	3	—	—	7	3	4	—	—
6/17	●	●	5	5	●	5	●	—	—	●	①
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	●	●	4	3	3	2	3	—	—	●	●
6/21	3	2	4	3	2	4	4	3	3	—	2
6/22	—	7	—	—	9	—	—	—	—	—	9
6/23	—	4	—	●	9	●	3	●	8	3	④
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/25	1	—	—	—	1	—	1	—	—	1	1
6/26	—	●	④	④	●	●	④	1	—	8	●
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	3	1	2	3	2	3	3	2	1	3	④
6/29	—	—	3	3	5	3	9	8	8	9	—
6/30	6	—	●	5	●	●	●	4	1	●	5

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）